

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公開番号】特開2016-212218(P2016-212218A)

【公開日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-068

【出願番号】特願2015-94849(P2015-94849)

【国際特許分類】

G 03 G 5/05 (2006.01)

G 03 G 5/147 (2006.01)

【F I】

G 03 G 5/05 104 A

G 03 G 5/147 503

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月2日(2018.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体と、前記支持体上に設けられた感光層と、を有する電子写真感光体であって、前記電子写真感光体の最表面層が結着樹脂を含有し、

前記最表面層の結着樹脂に六方晶窒化ホウ素が分散されており、かつ、前記六方晶窒化ホウ素の黒鉛化指数(GI)が3.0以上15.0未満であることを特徴とする電子写真感光体。

【請求項2】

前記六方晶窒化ホウ素が疎水的に処理されていることを特徴とする請求項1に記載の電子写真感光体。

【請求項3】

前記六方晶窒化ホウ素がシランカップリング剤で処理されていることを特徴とする請求項1または2に記載の電子写真感光体。

【請求項4】

前記六方晶窒化ホウ素の最表面層における含有割合が1体積%～20体積%であることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の電子写真感光体。

【請求項5】

前記六方晶窒化ホウ素が疎水的に処理されており、かつ前記六方晶窒化ホウ素の最表面層における含有割合が1体積%～20体積%であることを特徴とする請求項1乃至4に記載の電子写真感光体。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか一項に記載の電子写真感光体と、

前記電子写真感光体の表面を帯電させる帯電手段、トナーを用いて前記電子写真感光体上に形成された静電潜像を現像してトナー画像を形成する現像手段、前記電子写真感光体上に形成された前記トナー画像を転写材に転写する転写手段、および前記電子写真感光体の表面に当接しながら当該電子写真感光体をクリーニングするクリーニングブレードを有するクリーニング手段からなる群より選択される少なくとも1つの手段と、を一体に支持し、電子写真装置本体に着脱自在であることを特徴とするプロセスカートリッジ。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の電子写真感光体と、
前記電子写真感光体の表面を帯電させる帯電手段と、
帯電された前記電子写真感光体を露光して静電潜像を形成する画像露光手段と、
トナーを用いて前記電子写真感光体上に形成された前記静電潜像を現像してトナー画像
を形成する現像手段と、
前記電子写真感光体上に形成された前記トナー画像を転写材に転写する転写手段と、
前記電子写真感光体の表面に当接しながら当該電子写真感光体をクリーニングするクリ
ーニングブレードを有するクリーニング手段と、を有することを特徴とする電子写真装置
。